

1. 年度計画

NEXT30の「国際化」のアクションプラン、特に、「スポーツ・武道を通じた国際交流」を推進し、「スポーツ・武道の文化を海外に発信する」力を養成するため、国際交流センターでは、学生の外国語のコミュニケーション能力や異文化理解の力を向上させるために、以下の事業を行う。具体的には、2025年1月に連携派遣覚書締結をしたJICAの海外派遣事業に係る引率経費、英語カリキュラムの学習効果検証やJICA派遣の語学力要件を満たすための英語テストや、教材、CR教室の保守などの経費要求を含む。

- 1) 施行5年目になるユニークな英語カリキュラムに基づく英語の授業及び「異文化理解」の授業の継続と評価
- 2) マンツーマン英語指導
- 3) T.E.A.M. (Teaching English for Athletic Minds)
- 4) 留学フェア
- 5) 留学生と日本人の交流イベント
- 6) 英語プレイスメントテスト、アチーブメントテスト、TOEIC IPの実施
- 7) 交流協定校との交流事業
- 8) 重点プロジェクト事業経費申請事業に関連すること

2. 事業の詳細

- 1) 次の特徴を持つ英語カリキュラムに基づくユニークな英語の授業（例：スポーツ英語、海外留学、海外で暮らす、オリンピック、プレゼンテーション入門など）を継続し、プレイスメントテストとアチーブメントテストの結果等を用いてカリキュラムの評価をする。

【特徴】

- a) 基礎から実践的なものまで幅広くレベルと目的（ゴール）に応じて選択できる
- b) 努力と成果で選択肢が増える
- c) レベルに応じて可能な限りの少人数クラス
- d) 卒業まで自らの計画や必要に応じて英語の学習ができるシステム

・また、「異文化理解」の授業は、海外経験、異文化に造詣の深い国際交流センターの先生方によるオムニバス形式の授業

2) マンツーマンによる英語等の指導

- a) 希望者の目的とレベルに合わせたワンセッション 30 分のレッスン
- b) 1 週間におよそ 1 回のレッスン
- c) トピックを決めた英会話、英語語彙力強化、英文法の復習 etc.
- d) 毎回セッションの終わりに次の予約日時を決める
- e) オンライン、対面の両方で実施
- f) 国際交流センター長の国重が中心に実施

3) T.E.A.M. (Teaching English for Athletic Minds)：英語のレッスン、質問に答えるなどの対応

- a) 1 セッション 15 分のレッスン
- b) 月曜日と水曜日に各 3 セッション実施 1)11:45-12:00 2)12:00-12:15 3)12:15-12:30
- c) 今年度よりスタート
- d) 学生はもちろん、教職員も参加可能
- e) 国際交流センターの英語教員 3 名（エルメス、田嶋、国重）で実施

- 4) 海外での異文化体験や、留学準備、英語などの外国語の勉強方法などをシェアし合う
 - a) 海外留学をしたり、英語の力を大幅に伸ばすことに成功した在校生、卒業生、特別ゲストを招き、講話をしていただく。
 - b) Q&A セッション
 - c) 学生間のネットワーク作りとグローバルマインドの養成
 - d) 3 回程度開催予定
- 5) 留学生と日本人学生との交流促進
 - a) スポーツを通じた交流会を 2 回程度実施予定
 - b) 国際交流センターの廊下に留学生を紹介する大きなポスターを掲示
- 6) 各種英語試験の実施
 - a) プレイスメントテスト、アチーブメントテスト
 - b) TOEIC IP は 5 回実施
- 7) 交流協定校との交流事業
 - a) 交換留学生の受入及び派遣に係る学生選考
 - b) 交流協定校教員等の訪問受入れ・調整に関すること
- 8) 重点プロジェクト事業経費申請事業に関連すること
 - a) JICA 海外協力隊連携派遣の実施及び調整、必要手続きサポート
 - b) 派遣学生への事前指導
 - c) 異文化理解促進と外国語コミュニケーション向上のための指導・勉強会

3. 令和 7 年度予算計画（単位千円）

①国際交流センター経費

区分	金額	算出内訳
物品費	424	教材、英語テスト
その他	200	CR1,CR2 保守費
計	624	

②重点プロジェクト経費（グローバル化推進経費「スポーツや武道を通じた国際交流を図り、スポーツや武道の学術的・文化的価値を世界に発信ができる人材の基礎力養成」）

区分	金額	算出内訳
人件費	2,262	特任専門員人件費
旅費	1,450	JICA 連携派遣引率、指導旅費
計	3,712	